

授業概要

今年はパリで2024年夏季オリンピックが開催され、フランスの豊かな文化を目にする機会が増える。こうした仏文化の基礎をなすフランス語の習得は同じくラテン語から派生した他の言語（スペイン語、イタリア語など）や英語をマスターする上での手がかりとなり、様々な分野でのキャリアをさらに発展させてくれる（特にファッション、料理、アート、ビジネスなど）。講義では「フランス語Ⅰ」につづき、豊かで楽しい仏語の文化を学び、その基礎文法をマスターしながら「読む・書く・聴く」のスキルを養い、仏語を話せるようにする。

前期同様、初心者にも分かり易い会話演習をベースにしたビデオ教材を使う。毎回簡単なスピーキングの練習をし、文法の基礎とその応用について学ぶ。さらに、実践的なコミュニケーション能力を養うべくフランス映画の映像やシャンソンを視聴し、単語集を使った語彙の補完につとめる。

授業計画

第1回	ものの尋ね方 —— 疑問副詞/パリの中の日本
第2回	ブティックで買い物 —— 中性代名詞 en、疑問形容詞/上手な買い物の仕方
第3回	友人を招待する —— 命令形/フランス人の上手な「おもてなし」
第4回	ヨーロッパのスポーツ —— 非人称構文/「ツール・ド・フランス」について
第5回	友だちを紹介する —— 指示代名詞/ノルマンディー地方のグルメ
第6回	パリのデパート —— 比較級・最上級/服のサイズをフランス語で指定する
第7回	数を数える —— 数詞/時刻・日付の読み方
第8回	旅の話をする —— 補語人称代名詞/天候の表現
第9回	フランスの乗り物事情 —— 代名動詞/一歩進んだ自己紹介の仕方
第10回	ルーアンの街を歩く —— 複合過去形、過去を表わす状況補語/フランスの歴史と建物
第11回	過去について語る —— 半過去形、大過去形/バカンスの楽しい思い出
第12回	別れを告げる —— 単純未来形、前未来形、未来を表わす状況補語/パリの外国料理
第13回	南フランスの紹介(1) —— 条件法現在形、条件法過去形/プロヴァンスの香りと芸術
第14回	南フランスの紹介(2) —— 接続法現在形、接続法過去形/南仏のおいしい料理
第15回	これまでのレッスンのまとめ/フランス語検定4級の解説
第16回	学期末試験(筆記試験)

到達目標

前期の授業を踏まえた後期の学習課題をこなせば、「文部科学省後援実用フランス語技能検定試験4級」以上の資格が取得できるようになる。長いスパンで考えればフランス語はそれぞれの将来の目標に近づくためのスキルとなり、人生を必ず豊かなものにしてくれる。一緒に楽しく学ぼう。

履修上の注意

前期の授業を履修しただけではフランス語の基礎を十分に習ったとは言えないので、過去に「フランス語Ⅰ」の単位を取得した学生が「フランス語Ⅱ」を履修することが望まれる（履修年度は問わない）。外国語は声に出して発音してこそ身につくため、授業で積極的に発言していくことが期待される。なお、原則として遅刻は認めない。また、学習に集中するための常識的なマナーを守るように。

予習・復習

授業で指示された予習・復習をきちんと行い、課題をこなすことが求められる。実践してみよう。

評価方法

学期末試験(50%)、課題(30%)、授業参加の度合(20%)などを総合的に評価する。ただし、基本的には、受講生が学習を通して各々将来の目標に役立つ「何か」をつかんでくれることに主眼を置く。

テキスト

(教科書はフランス語Ⅰからの継続使用になる。また、随時プリントを配布する。)

- ・教科書名: “Elle est gourmande! 1 Nouvelle Edition” (『新・彼女は食いしん坊! 1』)
- ・著者名: 藤田 裕二
- ・出版社名: 朝日出版社
- ・出版年 (ISBN): (最新版) 2018年 (ISBN978-4-255-35231-2 C1085)